



ひろがれ
まわれ
一つ心に

MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第16回例会(10月30日)
平成27年11月6日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10
川徳デパート内
例 会 場 同上 TEL(651)1111(代)
例 会 日 毎週金曜日12時30分～

会 長 岩野 法光
幹 事 吉江 信博
会 報 福田 荘介
クラブ事務局 TEL(653)5682
FAX(653)5622

Be a gift to the world. '世界へのプレゼントになろう'…………… K. R. ラビンドラン

ROTARY | 新入会員卓話



「JA グループの取組について」

農林中央金庫盛岡推進室 推進室長

鳶田 浩二君

本日は新入会員卓話ということですので、一般の方々には、「農協」「JA」という言葉は知っていても、何やっているのか、どんな組織か知られていないと思いますので、JAグループの概要や取組などをご紹介、宣伝をさせていただければと思います。

農協（JA）、漁協（JF）、森林組合の組織は、各事業を縦軸に、市町村段階、県段階、全国段階を横軸としてできるマトリックス毎に組織があります。全国には、JAは679、JFで沿岸部分だけで976、森組は672あります。

岩手県には7つのJAがあります。県の面積の割にはJAの数が少ない方です。北海道では108のJAがありますし、県内に1JAしかない県も4県あります。また、JFは24、森組は19組合あります。

JAの岩手県における歴史は、たどっていくと明治34年の小友信用組合からはじまっているようです。今の岩手県農協中央会の前身で、まだ産業組合中央会岩手支部と言っていた頃に、その会長に新渡戸稲造が就いています。昭和6年～8年になくなるまでの2年だけでしたが、当時は他のどの県も、県知事が県の部長が会長に就くことが通例でしたので、民間人初の会長ということで画期的な出来事だったようです。その時に新渡戸稲造が書いた「Union is Power」(団結は力なり)」という書は、今でもサンピルの主だった会議室等には概ね額に入れて架けてあります。

岩手の農業の特徴としては、県内農畜産物の算出額は上記5位のうち、米が1位ですが、次にプロイラーの算出額が多く、それ以降も豚肉、

生乳と畜産物が続くことです。

JAがどんな組織かということ、法人の性格としては、協同組合になります。株式会社とは異なり、非営利で相互扶助が目的、1組合員1票、利用者と運営者が同一です。JAでいえば、生産者、農業者の方々を組合員とする相互扶助組織で、組合長や理事は基本的には地元の農業者の代表の方です。

JAが実施している事業は、経済事業、信用事業、共済事業等々と多岐にわたっています。JAによっては葬祭事業もあります。これは、農業者の方々が、農業生産して、生活していくために必要な事柄一式について、皆で協力して揃えて、皆で利用するという発想から多くの事業を総合的に実施しているものです。この総合事業もJAの特徴の一つです。ただし、JAで実施できることは、基本的には農協法や各種法律で定められているので、何でもできるというわけでもありません。

各事業について簡単にご説明しますと、経済事業は、組合員が生産したものを販売する、または、生産するために必要なものを組合員に供給するという事業です。販売の例としては、「共同計算方式」という方式があります。これは、JAが組合員から米の販売を委託され、その米を一定期間内にJAが販売し、平均販売価格で各組合員に代金を支払う方式です。

例えば、今日は1万2,000円、昨日は1万6,000円、おとといは1万1,000円であった場合、どの日に出荷したとしても平均価格の13,000円で販売したことにする方式です。価格が日々変動したとしても、安定した価格で販売代金を受

け取れるようにする仕組みです。ただし、米の場合すべて売り切らないと平均価格が算出できませんので、最初の段階で、あらかじめ想定した価格で米代金を組合員に前渡することにしており、それが「概算金」といわれているものです。翌年に実際の販売価格から経費を差し引いた金額と、当初支払った概算金とで差があれば、それを精算することになります。ただし、これは各地域の米をまとめて販売するやり方なので、ブランド米等個別に付加価値がある場合は独自に販売される方も多くなっています。

信用事業は、JAの金融部門であり、貯金、貸出など概ね一般の銀行と同じことをしていますが、全国合計では相当金額が大きくなっていますが、JA貯金合計で94兆円程度あります。それらJAの貸出、有価証券等の自己運用を差し引いたものが、県連、農林中金に預けられています。そして、逆の流れで運用益を奨励金と呼んでいます。返していくというのが一連の流れになります。なお、CM等で、「JAバンク」と称していますが、そういった組織があるわけではなく、このJAの信用事業全体を「JAバンク」と称しているものです。

共済事業は、生命共済・損害共済の両方を取り扱っています。

JAでは、組合員向けに、このように多種多様なことをしています。JAは正組合員の他にもJAの活動に賛同いただいて出資していただければ准組合員になってご利用は可能ですので、ぜひご活用いただければと思います。

最後に、県内JAの取組等を紹介させていただきます。復興支援については、JA、JF、森組全体として各種取り組んでいます。低利融資などの金融支援から、営農再開のための資材の提供等も実施しています。

県内では、ABCクッキングとタイアップしてレシピ等を紹介している全農いわての「恋するおコメプロジェクト」や各JAにおいて輸出による販路拡大、料理教室の開催等々、県産の農産物の消費拡大に向け、各種取り組んでいます。

岩手県は農業、水産業、林業とも盛んな全国でも有数の県です。これからも、JA、漁協、森組をごひいきにさせていただきたいですし、ぜひ、国産、岩手県産の農産物、水産物等をたくさん食べて、飲んでいただけると幸いです。

例会報告

第16回例会
平成27年10月30日(金)

- 12時30分 開会点鐘
 ・司会 岩野法光会長
 ・ソング それでこそロータリー
 ・会長報告 岩野法光会長
 ・幹事報告 吉江信博幹事

【他クラブ例会変更のお知らせ】

- 盛岡西R.C.=11月19日(木)は、盛岡中央R.C.・盛岡滝ノ沢R.C.との合同例会のため17日(火)18:15~

「ベルヴィ盛岡」。

- 盛岡東R.C.=11月16日(月)は、通常夜例会18:30~「すべいん倶楽部」会場変更。11月30日(月)は、秋の懇親会のため29日(日)。
- 盛岡中央R.C.=11月17日(火)は、盛岡西R.C.・盛岡滝ノ沢R.C.との合同例会のため17日(火)18:15~「ベルヴィ盛岡」。
- 盛岡滝ノ沢R.C.=11月19日(木)は、盛岡西R.C.・盛岡滝ノ沢R.C.との合同例会のため17日(火)18:15~「ベルヴィ盛岡」。

【ニコニコBOX】

- ◆大平騰一君…先週22日、櫻山神社

での秋の懇親会ではキーボード演奏の機会を頂きありがとうございました。つたない演奏ではありましたが、温かい拍手と声援を頂き、ありがたく思っております。このような機会を頂きました親睦委員会の皆様と星委員長にも感謝してニコニコします。

●メークアップ

盛岡北R.C.=川村(登)・菊池・高柳・吉田(幸)君。盛岡東R.C.=星君。盛岡滝ノ沢R.C.=佐藤(仁)・海野君。クラブ委員会=藤村(文)・駒木・白石・平野・岡村・荒道・西島・佐藤(重)・岡本・早坂君。

出席報告 □ 会員数 / 72 名 □ 出席数 / 43 名 □ 出席率 / 64.18% □ 前々回 / 83.58%

プログラムの
お知らせ

- ・11月 6日(金) パスト会長卓話 佐藤義正会長
「交流人口の増加で地域を元気に」
- 13日(金) 新入会員卓話 掛上智章君

- 本号編集担当 / 熊谷 隆司
- 次号編集担当 / 福田 荘介